専門教育科目　講義科目

科目名：	国民年金法		科目コード	FV56
			単位	2
科目主査：	北川 和善	担当講師： 北川 和善、須田 美貴、中島 典子、若林 芳勝	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☐ あり ☑ なし

国民年金法は、国民の老齢・障害・死亡に関して支給される全国民共通の基礎年金について定めた法律です。本科目では、被保険者関係 （被保険者の種別ごとの適用の要件、資格の取得・喪失日、任意加入被保険者の資格の取得・喪失）、給付関係（各給付の支給要件、支給額、支給停止、失権）、保険料関係（保険料の額、免除、追納、前納等）が学習の中心となります。また、高齢化社会を背景とした、年金制度における国民年金の基本的な位置付けや厚生年金との関連を理解します。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問できるようにしてください。	
テキスト	『国民年金法』一般財団法人 安全衛生普及センター,最新版	

この科目の 到達目標	①国民年金に関する基本的事項を正確に理解し、その意義やしくみを説明できる。 ②厚生年金保険制度との関係など年金制度全般についてしくみを理解し、説明できる。
成績評価 の 方 法	授業時間すべての時間にアクセスしていることを条件に、最終試験の得点で評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	テキストの解説項目は全て重要な論点であるが、付随する過去問題を解くことにより該当条文の趣旨と内容の理解を確立してください。また、国民年金法は年金制度全体を理解する上で基礎となる科目です。特に老齢基礎年金の経過規定については、その歴史を知ることにより、なぜそうなのかを理解してください。
事後学習の 参考文献	事後学習の 参考文献 『社労士受験六法』社労士六法編集委員会,東京法令出版 最新版 『厚生労働省ホームページ』 https://www.mhlw.go.jp/index.htm

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。